

兵道けんじニュース

発行者 公明党甲府市議会議員

2024. 初春

兵道 顕司

甲府市中村町 1 5 - 6

VOL. 3 2

TEL/FAX055-237-9529

ホームページもご覧ください

<http://www.komei.or.jp/km/kofu-hyodo-kenji/>

令和6年元旦に能登半島を最大震度7という大地震が襲いました。新たな年をそれぞれの決意のもとにスタートしようとした矢先のことです。犠牲となられたすべての方に心から哀悼の意を表しますとともに、被災された方すべてに心からお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

私ども公明党山梨県本部所属議員も1月下旬に実施された被災者救援の会の街頭募金にご協力し、皆様からお預かりした義援金を日本赤十字社山梨県支部に全額寄託し、被災地にお届けいたしました。

ご協力いただきました皆様にこの場をお借りして感謝申し上げます。

今号は遅ればせながら、代表質問に登壇した令和5年12月定例会の概要をお伝えします。

3月定例会には、令和6年度の当初予算を審議する予算特別委員会に参加する予定です。今後さらに役に立つ議員となるよう全力で働いて参ります。



これまでの本会議での質問動画 → [甲府市議会インターネット中継](#)

(https://kofu-city.stream.jfit.co.jp/?tpl=speaker_result&speaker_id=58)

代表質問その1

(1) ヴァンフォーレ甲府を再び顕彰すべき

J2チームで初めてACLグループステージを突破し、「甲府」の名をアジア中にとどろかし、甲府であることの誇りを改めて我々にもたらしてくれた功績をたたえるべき。

→ホームページやSNSのほか、様々な場面・機会を通じて、その雄姿や活躍を広く伝え、力強く応援することにより、ふるさと甲府の誇りであるヴァンフォーレ甲府の栄誉を称えていきたい

(2) 専用球技場建設の機運を甲府から盛り上げるべき

ACLのホームゲームが国立競技場ということに残念な気持ちを抱く県民も多い。ぜひ専用球技場の機運を連携中枢都市甲府から盛り上げるべき。

→建設のためには、スポーツで稼げる県づくりが必要であるとの見解を示した県の指摘があり、慎重に考察していきたい

代表質問その2

がん撲滅に向けた取り組みについて

- がん撲滅に向けた強い意志を示すため、健康都市甲府として、がん撲滅に向けたあらゆる施策を体系化し総合的にがん対策を進めるための計画を創るべき
 - 「がん予防」から「がんとの共生」までを「甲府市保健計画」の中に体系的に位置づけ、総合的かつ計画的に推進する

代表質問その3

予防の見地からのがん対策について

- (1) 次代を担う子どもたちを守るため、中学生を対象としたピロリ菌の無料スクリーニング検査制度を創設すべき
 - 検査の実施体制や方法等について様々な課題があることや、中学生で除菌して将来の胃がんを予防できるとのエビデンスが現時点では示されていないことなどから、19歳以上を対象としたリスク検査において、青壮年期層の胃がんの予防をより一層促していきたい
- (2) HPVワクチンについて、男性の咽頭がんの原因ともいわれ、また女性へのウィルス感染を防ぐという見地から男性への接種も検討すべき
 - HPVのまん延を防ぐ観点から、男性のHPVワクチン接種のあり方について議論を進めるよう、全国政令市衛生部局長会において引き続き国へ要望していく。

代表質問その4

病と懸命に闘う子どもへの支援について

小児がんや子どもの難病と闘っている方々にとって、市外、県外の医療機関を受診せざるを得ない場合が多く、その精神的、経済的負担は計り知れない。

こうした方々に寄り添う施策として、遠方の医療機関を受診する際の交通費の助成制度の創設を求めるが、所見を伺う。

→これまで行っている宿泊施設の情報提供に加え、民間団体が実施している小児がん交通費等補助金制度の周知を図るとともに、他都市の取組状況等についても情報収集を行う中で調査・研究していく。

広聴広報委員会委員長として

市民と議会の交流会を実施

→いただいた意見を起点として議会としての「政策提言」につなげていく。

今年度は4回実施。